

# 友和会の精神を再確認して・・・。

事務局長 池田 泉

今年度事務局長を仰せつかった時、前理事長の飯高京子氏より「日本友和会の歩み―非戦平和と和解を求めて―（1926AD・2000AD・2003年発行）を頂きました。

そこには（1ページ8行目から14行目）三代目の理事長・政池仁氏が書いた、「日本友和会（J・F・O・R）とは何か」から引用して理事長、武祐一郎氏が以下のように書いています。

「FORは1914年第一次世界大戦が始まった年の12月にイギリスで誕生し、それが世界に広がったもので、約90年の歴史を持つ運動です。その間、あらゆる暴力と一切の戦争に反対する旗印を鮮明にして歩み、さらに庶民の基本的人権を守る働きも行ってきました。聖戦も正義の戦争もない。と言う立場を貫いてきたのです。」と書かれていました。私は嬉しくなって読み進み（1ページ下段22行目〜2ページ1行目）ました。『わたしたちは、和解の務めを与えられた者なのです。現在の世界情勢、すなわち、イラク戦争、北朝鮮との問題、またパレスチナの泥沼的な紛争などを見つめる時に、人類に今、最も必要なのは「和解」の思想ではないか、「和解」の務めを実行する人たちなのではないか、と痛感します。あらゆる暴力と一切の戦争を否定して歩む者こそが、このつとめを果たせるのではないのでしょうか』と書かれていました。それが書かれてから今年には15年目を迎えますが問題はなにも変わらない現実には打ちのめされ、つとめをどうしたら果たせるのだろうと考えま

す・・・。

日本友和会にとって世界の平和も重要ですが、特にいつも問題なのは沖縄のことで。遠い地であることも災いして、すぐにも忘れられ、その地だけが本土復帰後も人身御供のように放置されてきました。そしてあろうことが今さらに、辺野古の基地新設でその苦行を延長されようとしています。オスプレイが日本各地に配備されたことで、本土の市民にもようやく人権を無視した日米地位協定が沖縄だけの問題ではなく、私たちの日本全体のあらゆる場面で問題であることに気がついて真剣に沖縄のことを考える市民の輪ができてつつあります。この市民の動きに私たち友和会がどのような役割を發揮できるのか皆さんと一緒を考えたいと思います。最後になりましたが、日本国憲法が現政権の手で変えられようとしている事に触れないで終わることは出来ません。私たち友和会会員も安倍9条改憲NO！全国統一署名「3000万人署名」に参加して多くの署名を集めています。それは今まで以上に大きな動きです。現在署名運動は全国で1500万筆を超えています。9月30日までさらに延長し目標の3000万人を目指しています。皆様もこの署名運動の意義を広め改憲を阻止したいと思えます。そして8月の全国大会では「広島から問う、核廃絶と平和憲法」というテーマの下、皆さんと共に核のこと・平和憲法のことを存分に話し合いたいと願っています。もし全国大会に集まれないならば、身

近な地域で会員同士何人か集まってお茶を飲みながらおしゃべりするのでもいいでしょうか？ 友和誌にご自身の思いを投稿してみることも出来ます。俳句や短歌、漫画や挿絵、昔の写真の募集もあります。戦跡や戦争博物館訪問記など、どうぞこの友和誌を会員の発言の場として、文字での交流の場としてももっともっとと活かしてください。楽しみにお待ちしております。

私たちFORの会員はただ自分たちが戦争をしない、あらゆる暴力と一切の戦争に反対する旗印をただ掲げているだけの消極的な者ではなく、仲の悪い者を仲良くさせる。和解させるともがらの集まりなのだということを、この事務局長のお役を頂き、ほんの少しの歴史を振り返り再確認しました。両親の想いをただ受け継いで会員となったので、それはまさに感動であり誇らしい思いですが、私にそのような行動が出来るだろうかと不安もあります。皆様はいかがでしょう？

2000年にはすでに世界に27カ国にFORがあると書かれています。そうだ！世界のFORから「平和憲法すてきな！」ってどんどん発言して欲しいですね。これを実現するように理事会で発言してみます。何だか理事会メンバーであることが楽しくなりそうです。